

小学校外国語活動— CLILによる環境教育の試み

執行智子(東京未来大学)

カレイラ松崎順子(東京経済大学)

環境教育（谷口・大西1998）

イギリスの環境教育：

環境を人類に与えられた財産であり、環境の保護、改善を義務責任として貢献できる人間の育成をすること

[日本において]

学校教育の中での環境教育は、単独の単元でとらえるよりも、体系的に捉えていく必要性がある

→各教科を有機的に関連させたクロスカリキュラム
開発

MEXT 環境教育

現在、温暖化や自然破壊・・・環境問題への対応が人類の生存と繁栄にとって緊急かつ重要な課題となっている・・・エネルギーの効率的な利用など環境への負荷が少なく持続可能な社会を構築することが大切・・・国民が様々な機会を通じて環境問題について学習し、自主的・積極的に環境保全活動に取り組んでいくことが重要であり、特に、21世紀を担う子どもたちへの環境教育は極めて重要な意義を有しています。

新学習指導要領における「環境教育」

- 総則：環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養う
- 1～2年生 生活科
- 3～4年生 社会科 理科 体育科
- 5～6年生 社会科 理科 家庭科 道徳 外国語活動
- 総合的な学習の時間 特別活動

外国語活動に環境教育を取り入れる

• CLIL

- a dual-focused educational approach in which an additional language is used for the learning and teaching of both content and language

(Coyle, Hood, & Marsh, 2010).

- 柔軟性があり、教育現場の実情に合わせた様々なバリエーションが許される

(Coyle, Hood, & Marsh, 2010; 渡部・池田・和泉, 2011).

- 必要に応じてコードスイッチングをおこない、第一言語を使用することも許容される

(渡部・池田・和泉, 2011)

• 教科横断型(林, 2003)

- 子どもを大切にしたカリキュラム作りを進める視点を持つことができる
- 一つの学習成果を他の学習に生かそうとする姿勢を持つことができる
- 教科等のねらいや評価基準を明確に持つようになる
- 活動等の重複を避け、時間を効果的に活用することができるようになる

CLILの構成要素

(Coyle, Hood, & Marsh, 2010; 渡部・池田・和泉, 2011; 山野, 2012)

- Content
- Communication
- Cognition
- Culture/Community

これらの構成要素を有機的に結びつけパッケージングしたもの
→相乗効果により高品質の教育の実現

CLILと外国語活動 (山野, 2012)

- 児童の興味・関心にあったもの
- 積極的なコミュニケーションの態度の育成
- 児童の知的・発達レベルに考慮した学習や活動
- 言語や文化について体験的に理解を深める

⇒外国語活動の目標(MEXT, 2008)を実現できる手立て

先行研究 CLIL(山野, 2012)

- 大阪 国松緑丘小 (社会科)
4R(Recycle, Reduce, Reuse, Refuse)について地球環境のために自分たちにできることを知る、発表する
- 埼玉 井草小 (家庭科)
パンケーキ調理を英語で行い、ATLの国の食文化について知る
- 長野 穂高北小 (国語科)
『雪女』について英語で知り、日本語と英語の表現についてクラス全体で考える

結果

- CLILの4原理である内容、言語、思考活動、協同学習、文化・国際理解を取り入れた実践が小学校外国語活動において、実現可能であるといえる。
- 教科内容を使用した内容の充実、児童の授業への興味とやる気の喚起、担任教員の知識・経験の活用に関して、促進する可能性がある
- 外国語を使ったコミュニケーション活動に対しての児童の授業参加の促進し、外国語に対する興味を高めた
- 児童の思考活動は、低次思考活動から、高次思考活動まで広がっていると推測される
- 児童同士の学び合いが活発となった
- 文化・国際理解の体験的理解が深まり、そのうえで外国の文化・言語のみならず、日本や日本語についての理解も深められる可能性がある

先行研究 教科横断型(林, 2003)

教科横断的な学習の開発が、各教科の基礎基本の定着だけでなく、より幅広い視野で物事をみつめることができ、個性を生かす教育にもつながった

リサーチクエスチョン

環境教育をCLILを用いた外国語活動と学級活動の教科横断型授業で行うことが

1. 児童はどのように思ったであろうか
2. 児童の外国語活動の動機づけをあげるであろうか
3. 児童の内容に関する言語を増やすであろうか

本研究

- 目的

環境教育をCLILを用いて外国語活動と学級活動で行うことが小学校5年生の児童にどのように影響を及ぼすのか

- 参加者

東京都新宿区立愛日小学校5年生 19名

本プロジェクトの

ポスターを作り発表する

目標の設定(環境問題について世界に向けて発信する)

D1電気が生活に欠かせないものであることに気がつく

電力消費を抑える方法を調べる

D2エネルギー問題への関心を高める

環境問題と電力について調べる

D3節電のために必要な英語を知る

日本語で考えると既習の英語を使えない

D4発信する内容を絵で描き必要な英語を知る

寸劇を作り発表する

D5寸劇を作る

D6英語らしく発信する方法を知る

具体的なことばを使うように練習する

D7リハーサル

D8ビデオに撮る 鑑賞する

CLILと本活動

- Content
エネルギーについて知る
- Communication
グループ活動やALTとのやりとりで問題解決をする
外国の人に発信する
- Cognition
節電方法を考える
- Culture/Community
外国の人にわかるように発信する

Method

- 毎回の活動後に振り返りシート
- 事前事後に動機づけに関するアンケート
- 事後にCLIL授業をどう思ったかについての自由記述

分析

- 毎回の活動後に振り返りシートを質的に分析する
- 事前事後に動機づけに関するアンケートを量的に検定する
- 事後にCLILの授業をどう思ったかを自由記述を質的に分析する

振り返りシート項目

- 外国語活動をどのくらいがんばりましたか
＜1～5＞
- 外国語活動はたのしかったですか
＜1～5＞
- 今日の外国語活動で楽しかったところ、もっとこうしたかったところがありますか
- 今日の外国語活動で気づいたことや分かったことはありますか（英語について）
- 今日の外国語活動で気づいたことや分かったことはありますか（環境について）

環境について考えよう 振り返りカード

名前

	今日の外国語活動をどのくらいがんばりましたか <1~5>	今日の外国語活動はたしかったですか <1~5>	今日の外国語活動で楽しかったところ、もっとうしかったところはありますか	今日の外国語活動で気づいたことや分かっことはありますか (英語について)	今日の外国語活動で気づいたことや分かっことはありますか (環境について)
Day1					
Day2					
Day3					
Day4					
Day5					
Day6					
Day7					
Day8					

動機づけに関するアンケート 事前事後4件法

1. エネルギーについてもっと知りたいですか。
2. 英語をもっと習いたいですか。
3. 英語の授業はとてもたのしいです。
4. 地球の環境についてもっと知りたいです。
5. 外国のお友達をたくさん作りたいです。
6. 習った英語をもっと使ってみたいです。
7. もっと英語の授業があったほうがいいです。
8. 英語の授業中はなんとなくいつも心配です。
9. 英語が上手になって外国の人と話してみたいです。
10. 外国に住んでみたいです。
11. 英語を話すときどきどきします。
12. 外国のことをもっと知りたいです。

言語に関するアンケート

事前事後はい/いいえ

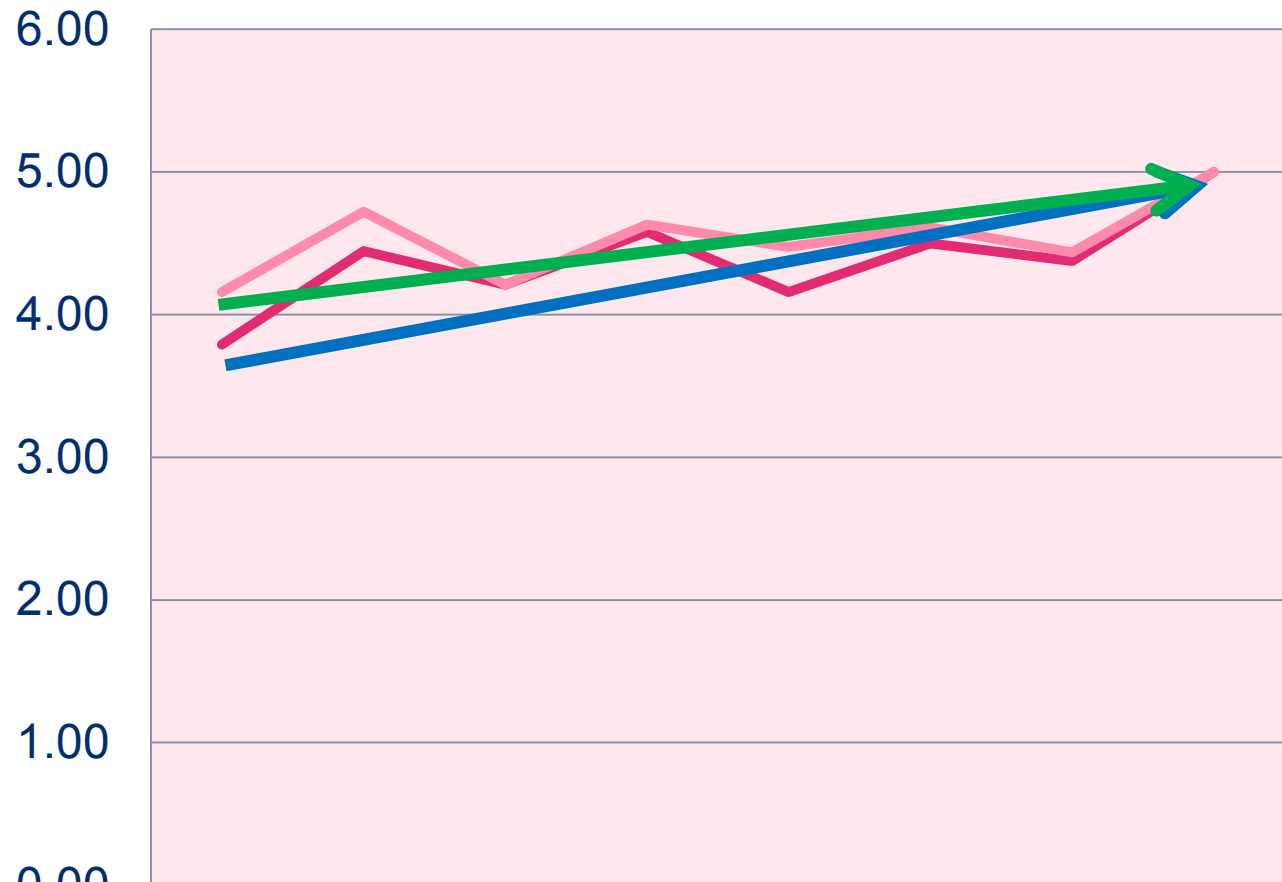
13. 英語であいさつはできますか。
14. 英語で自己紹介はできますか
15. 英語で電気がしていることを言えますか。
16. 英語で節電の方法が3つ以上いえますか。

動機づけに関するアンケート 事後自由記述

- ALT の先生の英語は分かりましたか。
- 担任の先生のお話はどうでしたか。
- 授業の中で新しく知ったこと・面白かったことを書きましょう。
(エネルギーについて、英語について)
- 授業を通してもっと知りたくなったことを書きましょう。(エネルギーについて、英語について)

結果

振り返りシート



—今日の外国語活動をどのくらい頑張りましたか

Day 1	Day 2	Day 3	Day 4	Day 5	Day 6	Day 7	Day 8
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

3.79	4.44	4.21	4.58	4.16	4.50	4.38	5.00
------	------	------	------	------	------	------	------

—今日の外国語活動は楽しかったですか

4.16	4.72	4.21	4.63	4.47	4.61	4.44	5.00
------	------	------	------	------	------	------	------

楽しかったところ、もっとこうしたかったところ はありますか

- 活動自体が面白かった・・・Content, Cognition
 - 電気を使用しているものを探す
 - 電気に関するクイズ
 - 劇を作った
- 活動で導入した英語が分かった、言えた・・・Language
 - ALTの言っていることがわかった
 - 活動で聞いたことばを使いたい、使えた
 - 劇にわかったことばを使った
 - 絵本のことばを使いたい
- 班活動をうまくしたい・・・Communication
- 発音が分かった・・・Language
- 英語で尋ね方がわかった・・・Language

Day1

Day7

気づいたことや分かったことはありますか (英語について)

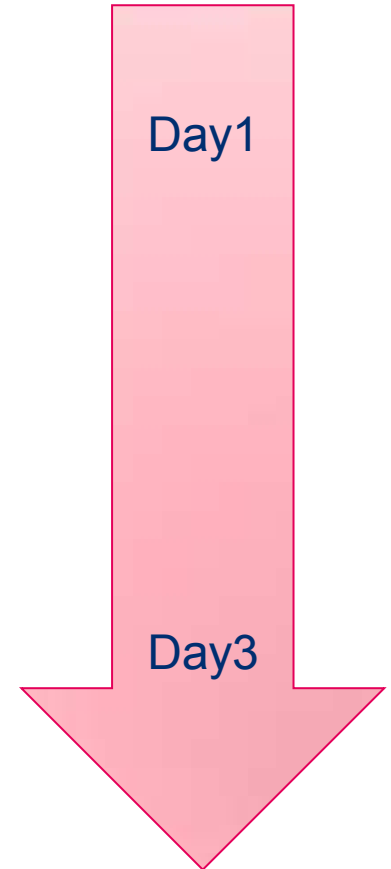
- 電化製品の名前が分かった
- 節電の方法を英語で言うのが分かった
- 必要な英語の言い方が分かった
- 英語らしく言う言い方が分かった
- 知っている英語があることがわかった

Day1

Day7

今日の外国語活動で気づいたことや分かったことはありますか(環境について)

- 生活の中でほとんどが電気を使っている
- いろいろな発電のいい方が分かった
- 小さなことで地球が守れること
- 一年で一番使う電化製品がエアコンと言うのがわかってびっくりした
- 1つの家で5000個も電池を使っているのが驚いた
- 節電の方法にはたくさんあると分かった



動機づけに関するアンケート 事前事後4件法

4. 地球の環境についてもっと知りたいです。

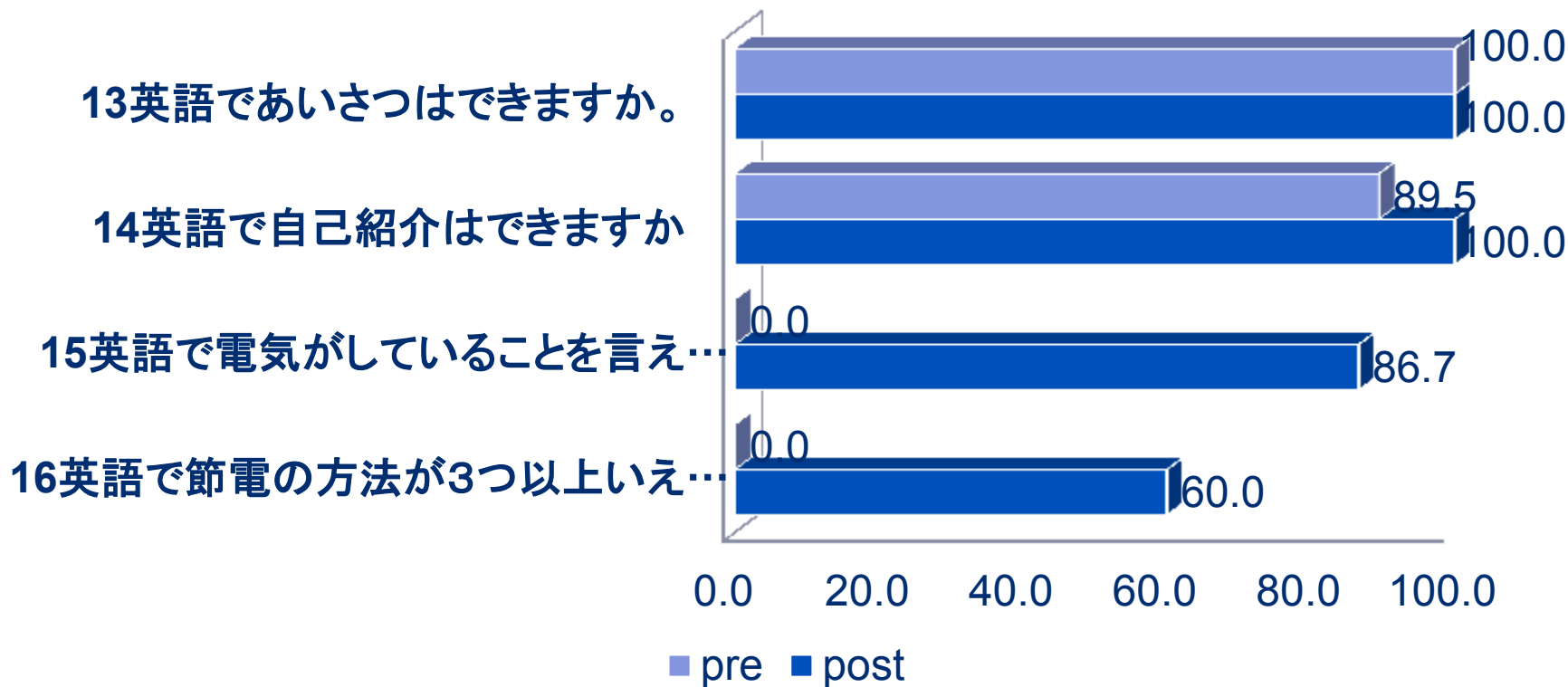
- 事前 平均3.87 事後 平均3.47

- $t(15) = 1.39, p = .28$

有意差があった

言語に関するアンケート

事前事後 はい/いいえ



15 $t(14) = 9.54, p = .00$

16 $t(14) = 4.58, p = .00$

有意差があった。

CLIL授業をどう思ったかについて の自由記述(事後)

ALT の先生の英語は分かりましたか。

- 分かった・・・9人

「わかった」

- 何となくわかる・・・2人

- 分かるときとわからないときがある・・・3人

「はいといいえ(分かるときとわからないときがある)」

- 少し難しい・・・1人

担任の先生のお話はどうでしたか。

- 分かりやすかった・・・6人

「環境と節電の関係などでわかりやすかった」

- 勉強になった参考になった・・・7人

「先生のアドバイスを参考にした」

「先生の話はとても参考になった」

- 特にない・・・1人

授業の中で新しく知ったこと・面白かったことを書きましよう。(エネルギーについて、英語について)

- 節電の方法(内容)を知って(おもしろかった)

・・・7人

「いろいろな節電方法が分かった」

「節電と環境の関係」

- 節電の言い方が分かった・・・4人

「英語で節電の方法が3つ以上言えるようになった」

「節電方法を英語で言えるようになった」

- 劇をしたこと・・・3人

「班で調べたことを劇で発表したこと」

- 英語の特徴イントネーション・・・2人

「イントネーションについて」

授業を通してもっと知りたくなったことを書きましよう。(エネルギーについて、英語について)

- 他の発電方法・・・2人

 - 「他の節約方法について知りたい」

 - 「冷蔵庫のことだけじゃなく他を習いたい」

- 節電方法・・・4人

 - 「他にどんな節電方法があるのかと言うこと」

- 方法の言い方・・・5人

 - 「他の節電方法や環境問題、環境問題の様々な問題を英語で言うこと」

 - 「英語で節電の方法をもアツと言えるようになりたい」

- 他の環境のためにできること、エネルギーのこと・・・2人

 - 「他に環境のためにできること」

 - 「エネルギーは何年後なくなるのかなど」

最終授業後の振り返り(児童)

- 緊張した
- はじめは調べたことをすごく長い文で言っていたが、日本語で短くして考えて、英語で短くしたのが良かった
- 練習の時は声が小さくあまり聞こえなかったのが、本番では声が大きくてとてもわかりやすかった
- 知らない単語がたくさんあったが、動きを入れて自分の知っている単語でも通じることがわかった
- 自分が知っていることばでも普段あまり使わなかったことばを使うようになった
- はじめは節電の方法など自信がなく小さい声で話していたが、そういう言葉も自信をもってはっきり言えるようになった

最終授業後の振り返り(担任)

子どもたちが発するコミュニケーションの欲求や表現のエネルギーがすごく高まって来たようなことを感じます。以前は、とても受身な感じがあったんですが、それが自分が考えたことを発するということがすごくいい経験になったようです。子どもたちのことばになってきたのが大きい。最初はALTの先生に聞いてそれを出すだけだったのが、劇をやっていくうちに自分たちのことばになっていった。

考察

RQ1.

CLILを用いた外国語活動と学級活動の教科横断型授業を児童はどのように思ったであろうか

- 毎回の活動後に振り返りシート

「今日の外国語活動をどのくらい頑張りましたか」と「今日の外国語活動は楽しかったですか」

・・・どちらもだんだんと上がっていく傾向がみられた。

しかし、

D3節電のためにできることを考え英語を知る

D5寸劇を作る

D7リハーサル

下がっている

⇒活動にcognitionの負荷がかかると頑張った、楽しかったとはなかなか思えない

- 毎回の活動後に振り返りシート

導入活動、英語、班活動、発信に関して「たのしかった」「分かった」「気づいた」という言及があった。

- 事後アンケート

節電の方法、節電の言い方、劇、英語に関して「新しく知った」「面白かった」

⇒content, language, communicationに関して満足している様子がうかがわれる

RQ2.

CLILを用いた外国語活動と学級活動
の教科横断型授業で児童の外国語
活動の動機づけをあげるであろうか

事前事後において行った動機づけに関するアンケートを量的に分析(t 検定)

「4. 地球の環境についてもっと知りたいです。」

のみ有意差があった

- 事前 平均3.87 事後 平均3.47
- $t(15) = 1.39, p = .28$

⇒動機づけをあげたとは言えない。

地域的に英語学習の動機づけがもともと高いことなどが考えられる

しかし

- 事後アンケートより、
他の発電方法、節電方法、その言い方、環境・エネルギーのためにできることに関して「もっと知りたくなった」

⇒本活動からからもっと学習したいという意欲はうかがわれる

RQ3.

CLILを用いた外国語活動と学級活動の教科横断型授業で児童の内容に関する言語を増やすであろうか

事前事後のアンケート

- 英語で電気がしていることを言えますか

0.0% ⇒ 86.7%

- 英語で節電の方法が3つ以上言えますか

0.0% ⇒ 60.0%

どちらもt検定において有意差があった

毎回の活動後の振り返りシート

- 電化製品の名前が分かった
- 節電の方法を英語で言うのが分かった
- 知っている英語があることがわかった

⇒ 児童は内容に関する語彙を本活動で増やしたと児童自身が思っているとうかがわれる

毎回の活動後に振り返りシート

- 気づいたことや分かったことはありますか（英語について）
 - 電化製品の名前が分かった
 - 節電の方法を英語で言うのが分かった
 - 知っている英語があることがわかった

⇒児童たちは英語の語彙が分かったと自覚している

その他

- 事前事後アンケート

「英語で自己紹介ができますか」

89.5% ⇒ 100.0%

- 事後アンケート

「ALTの先生のお話が分かりますか」

わかる、何となくわかる 11人

- 最終授業の振り返り

「声が大きくなった」「はっきり言えた」

⇒英語がわかる、言える自信がついた

最終授業の振り返り

児童

「知っている単語で通じる」

「知っている言葉を使う」

担任

「コミュニケーションの欲求」「表現のエネルギー」「自分の考えたことを発する」「子どもたちのことばになってきた」

⇒ことばをどのように使うかを模索できた

参考文献

Coyle D., Hood, P., and D. Marsh. (2010). Content and language integrated learning. USA: Cambridge, University Press.

文部科学省『学習指導要領における「環境教育」に関わる主な内容の比較』 from http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kankyou/___icsFiles/afieldfile/2013/01/22/1329192_1.pdf

林則久(2003)。「教科横断的な学習に関するカリキュラム開発～小学校～」。神奈川県立総合教育センター研究収録22:89~92.

谷口和成・大西洋悦(1998)。「クロスカリキュラムに基づく環境教育の開発 —The National Curriculum を手掛かりとした創造的教科の可能性—」岩手大学教育学部附属教育実践指導センター研究紀要 第8号, pp.65-79.

渡部良典・池田真・和泉伸一(2011)『CLIL(内容統合型学習)上智大学外 国語教育の新たななる挑戦第一巻 原理と方法』東京:上智大学出版

山野有紀(2013)「小学校外国語活動における内容言語統合型学習(CLIL)の実践と可能性」Eiken Bulletin Vol. 25.